

3 社会資本を課題とした「総合的な学習の時間」の指導計画

3-1 学習のねらい ～ 地域を思いやる気持ちを育む ～

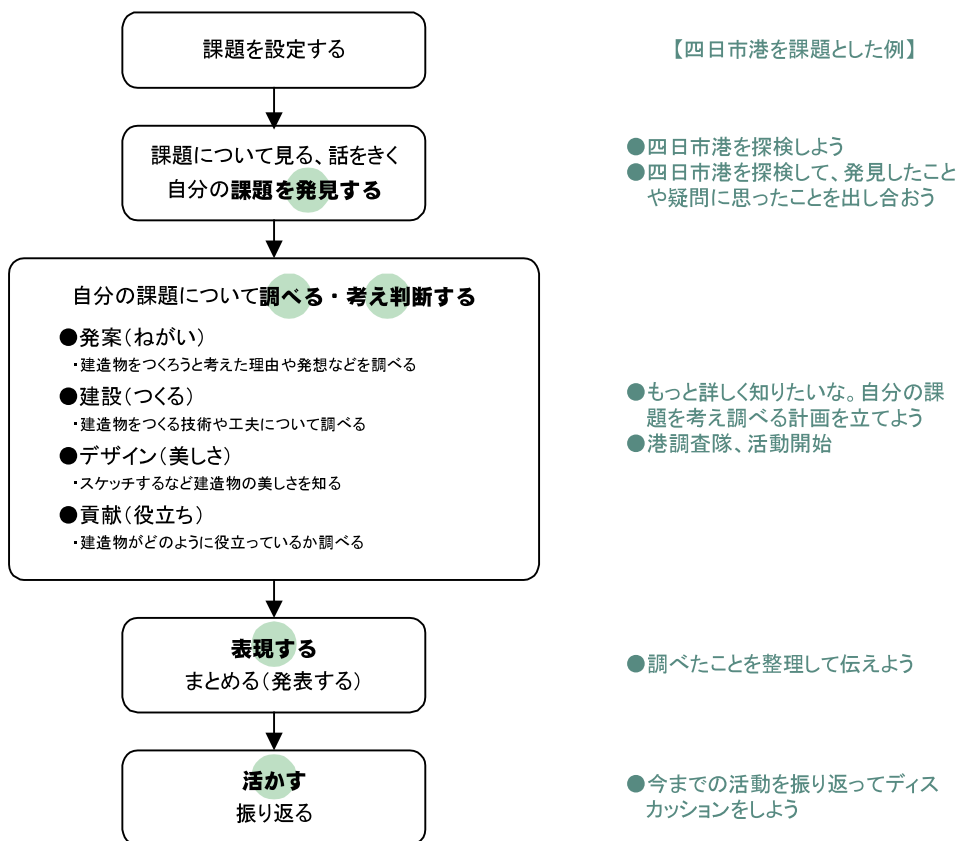
社会資本は、公共の利便性の向上や公共の福祉の向上等を目的として建設されるもので、建設された施設が使われ、有効に役立つことが目的です。

そのため、社会資本の利用者である市民が、これを共通の財産としてとらえ、主体的にその計画・整備に関心をもつことが重要となります。

社会資本を教材とした「総合的な学習の時間」では、自分たちの住む町の、橋、道路、港湾施設、河川施設、種々の建造物の集合体としての町など、様々な建造物や建造物を含む環境を自分の目を通して学習し、自分の住む町の成り立ちや、社会資本がどのように日常の生活に役立っているかなどについて理解を深め、ひいては「地域を思いやる気持ちを育む」事をねらいとしています。

3-2 学習の展開の考え方

社会資本を課題とした学習には、様々な展開の仕方が考えられますが、本書では、概ね図—2に示すような展開を想定しています。

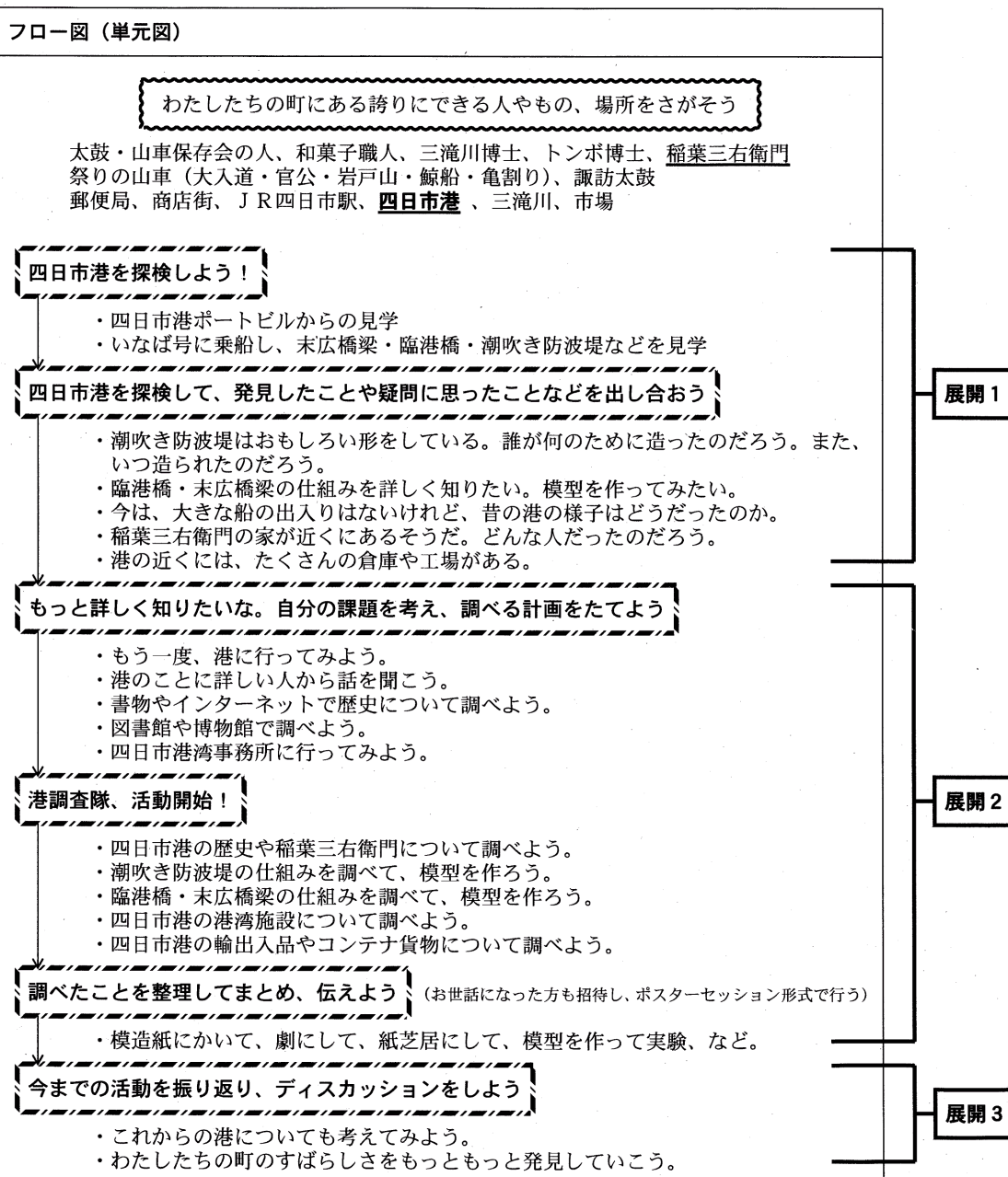


図—2 概略の学習展開の想定

3-3 指導計画（例）

○四日市中央小学校（三重県）「港・近代化遺産」「港のたんけん大発見」

①テーマ	四日市港
②対象とした社会資本	港、潮吹き防波堤、臨港橋、末広橋梁 等
③学習のねらい （単元目標）	・地域の発展のために尽くしてきた人や地域に遺る近代化遺産「四日市旧港港湾施設」「末広橋梁」などに関心を持つ。 ・港の見学を通して、追求していきたいことを考え、調べ活動を行うことができる。また、調べたことをまとめたり、製作活動を行ったりして、わかりやすく発表することができる。 ・地域の近代化遺産のすばらしさに気づくとともに、四日市港の発展のために尽くしてきた先人の知恵や思いを知り、ふるさとを愛する豊かな心をもつことができる。



図－3 学習指導計画例（四日市港を題材とした学習実践例）

表 1 - 1 展開 1 (必要時間数：8 時間、関連教材等：総合学習、社会科)

学習活動と内容	教師の関わり	関連教材	国土交通省等との連携(支援内容等)
○四日市港探検をする。 ・四日市港ポートビルからの港湾施設の見学 ・四日市港旧港の見学(潮吹き防波堤) ・臨港橋、末広橋梁の見学	・3年生の時にいなば号に乗船したときのこと思い出させ、わたしたちが住む町とかかわりが深い四日市港の学習をしていくことに興味をもたせる。 ・見学にあたっての安全指導を事前に十分行うようにする。また、見学地では、2人以上のグループで行動をさせるようにする。 ・港探検を通して発見したことや新たな疑問などを、文章や絵に表すようにさせ、事後の学習に役立てられるようにする。		・四日市港ポートビルのなかから、港を見学する。 ・船上からの港内見学 (コンテナ船etcの輸送船、備蓄基地etc) ▶使用教材…「いなば号」(四日市港ポートビル) ・音響測探器による海底地形の測定を体験する。 ・GPSによる位置測定を体験する。 ・ロープワークを体験する。 ▶使用教材…音響測音機、GPS測器、ロープ ▶支援事務所…四日市港湾事務所 ・末広橋梁、臨港橋、潮吹き堤防を見学する。 ▶支援事務所…四日市港湾事務所
○探検をして、発見したことや疑問に思ったことなどを出し合う。 *潮吹き防波堤・臨港橋・末広橋梁の仕組みについて。誰が、いつ造ったのだろうか。模型を作ってみよう。 *臨港橋や末広橋梁は、なぜ跳ね上げ式にしたのだろうか。 *稲葉三右衛門のことについて。 *四日市港の移り変わりについて。 *JR貨物列車で、何が・どこから運ばれ・どこへ運ばれていくのだろうか。 *港の近くに多くの工場や倉庫があるのはなぜだろうか。また、どんなものを作ったり、どんな仕事をしているのだろうか。 *四日市港でどんなものが輸出入されているのだろうか。	・様々な意見を取り上げ、一人一人の気づきを大切にしていく。必要に応じて、OHCも使用させる。 ・物資の流通や貿易について関心をもつ子も出てくると思われる。あまり深入りはできないが、現在の四日市港の役割や外国との輸出入の関係について、港の発展的な扱いとして学習の中に取り入れることもあり得る。	・四日市みなとマップ ・港の施設を撮影した写真 ・「のびゆく四日市」	・学芸員の方などに稲葉三右衛門、四日市の歴史について説明をしてもらう。 ▶支援事務所…四日市市学芸員の方 ・橋梁の模型を見せる。 ・末広橋、臨港橋の模型をつくってみる。 ▶使用教材…ペーパーブリッジetc. ▶支援事務所…四日市港湾事務所 ・四日市港の輸出入品の流れを調べることで、自分たちの暮らしと四日市港の役割を学習する。港の役割を理解させる。コンテナ貨物の中で食べ物、衣服、日用品(電化製品など)から品目を選定し、品物の流れ(荷主、港、工場、倉庫、消費地)を実際にたどってみる。 ▶支援事務所…四日市港湾事務所 四日市商工会議所 四日市市

表 1-2 展開2 (必要時間数：30 時間、関連教材等：総合学習、社会科、図工科)

学習活動と内容	教師の関わり	関連教材	国土交通省等との連携(支援内容等)
○前時の話し合いも参考にしながら、これから詳しく知りたいことを考え、調べる計画をたてる。	・意欲的に活動することができるよう、これから調べていきたいことをじっくり考えさせる。自分なりの課題をもつことが難しい場合には、視覚資料を提示しながら今までの活動を振り返らせるなどの支援をする。 ・課題を考えた子には、調べたり、まとめたりする方法などを計画させる。情報を収集するための手段(誰かから聞き取りをする、書物で調べる、もう一度現場を見学する、インターネットで調べるなど)を明らかにさせるようにする。また、収集した情報や資料をどのように整理してまとめ、発表していくのか(模造紙などにまとめる、紙芝居を作る、劇にしていく、模型を作って実験をするなど)といった見通しをもたせておくようにする。	・四日市みなとマップ ・NET 3. 4. 5 ・四日市旧港港湾施設パネル展示資料 ・ふるさと四日市を知る本 文化展望四日市ラ・ソージュ 16 「四日市と文化遺産」 ・三重県の文化遺産 三重県教育委員会 ・かもめちゃん みなとくんの ワクワク港ものがたり ・四日市港臨港橋 ・四日市港 21 四日市港湾事務所 ・みなとから世界へ 運輸省港湾局	
○調べ活動や製作活動を行う。	・調べ学習は、個人・グループなど、子どもの実態に合わせて行わせるようにする。 ・子どもたちの課題に応じて、もう一度、港見学に出かけたり、専門家の方から話を伺う機会を設けたり、模型の見本を提示したりしていくようにする。		・生徒の必要に応じて、調べ学習に便宜を図る。 ▶ 支援事務所…四日市港湾事務所 四日市市 四日市商工会議所 四日市博物館 四日市港管理組合 伊勢湾水先区水先人会
○調べた資料を整理してまとめる。	・発表することを前提にし、相手にわかりやすく伝えることができるように工夫させる。		
○発表会をする。	・ポスターセッション形式で、自分が伝えたいことが相手によく伝わるように工夫して発表させるようにする。 ・調べ学習などでお世話になった地域の方も招き、ポスターセッションに参加をしていただくようにする。		・ポスターセッションへ参加し、コメントをする。 ▶ 支援事務所…整備局 四日市港湾事務所
○発表会を終えての感想や意見をまとめる。			

表 1-3 展開 3 (必要時間数：4 時間、関連教材等：総合学習、社会科、国語科)

[illegible]